中心市街地再生の取り組み　2022

共有するテーマに基づいた「アクション（実践）」の開始

来街者が「また来たくなるまち」
事業者が「参入したくなるまち」

みんなで共有するまちのテーマ（御旗）　【こまがねテラス】

ふたつのアルプスのふもとのテラスのようなまちを目指して

市民が「誇りや愛着をもてるまち」
みんなの「サードプレイス」に

ホスピタリティの強化　＋　**情報収集・提供機能**　**交流機能**　**機会提供機能**

こまがねテラス・プロジェクト

何をする？

フェーズ2「山とのつながりを太くする」取り組み
～山岳観光客へのアプローチ～

- 心地よいと思えるような「おもてなし」がある
- 登山のために必要なモノや情報が手に入る
- ここを拠点にいろいろな活動ができる

アクションプラン

誰がする？

目的：「楽しさがあふれているまちをつくる」

今できることを、「できる人」から始めよう

民間事業者・市民

地元店

実践者支援

自店で始める実践
- ＊山岳観光客向けコーナー設置
- ＊山岳観光客向け商品開発
- ＊関連商品詰め合わせ
- ＊下山後に～岩盤浴、エステ
- ＊レンタル（ウェア、グッズ）
- ＊荷物預かりサービス
- ＊SNS・HP情報発信

個店の実践磨き上げ

⋮

- ＊各種時刻表案内（実践者共通）
- ＊プチ観光案内（実践者共通）

市民有志

- ＊おもてなし部会
  （目標：わざわざ来たくなる商品をつくる）
- ＊広報PR部会（SNS等情報発信）
- ＊こまゼミ部会
  （目標：まち・店を知ってもらう、関わる人が増える、店主が自信を持つ）
- ＊飲食・小売り部会
  （テイクアウトパークを運営し、売上増と店を知ってもらうことを目指す）
- ＊サイクリングライド
  （目標：駒ヶ根の素晴らしを再発見する）

行　政

- ＊駅構内コインロッカー設置✓
- ＊まちなかてくてくマップ✓
- ＊アルパ２階 屋内イベント会場貸付✓
- ＊空き店舗活用事業✓
- ＊中心市街地再生支援事業✓
- ＊融資制度✓
- ＊全国市街地再開発協会の支援✓
- ＊立体駐車場　料金上限設定

■今後のアクション候補

（ワークショップのアイデア）
- 観光案内機能（駒ヶ根市・観協会）
- アウトドア用品（ウェア・グッズ）のリユース呼びかけ
- 飲食店メニュー英語表記
- 商店向け英会話教室
- 画廊と憩いの場作り（画廊、展示スペース）
- 山関連メニュー考案
- 歌声喫茶
- 具体的業種の参入促進（カフェ、レンタル、土産店等）

●高原連携
- まちなかメニューの案内
- 泊食分離（まちなかでも食事可）
- 意見交換（何ができるのか）

民間・行政が、同時多発的に実施

チームK-テラス組織化の検討

実践者への支援

それぞれの活動・情報発信

取り組みの拡大

共通の目標：売上UP、集客、活性化

27年度
●方策の検討、方向性の統一
～まちづくり勉強会を開始

地方都市では、大規模なハード整備が困難な時代。まずは「まちの価値を高める」ところから「みんなで」始める必要がある。

＊ベクトルの統一
＊今の商売を続けながら、観光客にも目を向ける

28年度
●まちのテーマ、ターゲットの決定 ～勉強会+ワークショップ

全体の方向性を共有する「勉強会」に加えて、自ら実践しようという市民有志と行政による「ワークショップ」を立ち上げ、まちのテーマ、実践内容を検討。アンケートや聴き取りなど、各種調査を実施。

＊「山 アルプス」をまちでも活かす
＊街に足りない「おもてなし」を充実させていく

まちのテーマについて検討

29年度
●「こまがねテラス15店舗」の取り組みがH29.7.1スタート

共有するテーマの下、小さなことからでも、みんなでアクションを起こす。

第1弾店舗の取り組み

商品開発→「こまがねテラスらしさ」へ
まちなか出店の誘発（カフェ等の開業）
→まちなか活性化

＊空き店舗の減少など「まちなかに動き」が出てきた

ロゴの決定

Komagane Terrace

バナーの作成

30年度
●第２弾33店舗でスタート
●６商店街（会）が始動
●部会ごとの取り組み

（広報PR部会、まちなか周遊部会、おもてなし部会、マネジメント会議、まちなかワークショップ）

第２弾リーフレット

ホームページ

「おすすめ立ち寄りスポット」マップ

アクション第３弾

令和元年度
●テーマ
【街なかを行き交う人を増やす】

第３弾プレイベント：観光客向け
・まち歩きモニターツアー
①おすすめスポット
②食べ歩き
③おもてなし店巡り

第３弾本イベント：地元向け
①まちなかピクニック
②サイクリングライド
③第1回こまゼミ(肉のうんちく)

まちなかピクニック

令和2年度
ナイトチャレンジ
店先の歩道にテラス席を設置し、コロナ禍でも安全安心で飲食が楽しめる取組

まちなかランチ事業
ランチ提供28店をPRする取組み
マップの作成、月刊かみいな掲載、スタンプラリー実施

テイクアウトパーク
テラス席の設置（銀座通り）
第1回12店分のテイクアウト品を準備
サイクル＆イート
第2回テイクアウトに加えて出店やキッチンカー参加（計14店）
サイクル＆イート、芝生広場の設置
※終了後にテラスメンバーでソロキャンプ体験

「まちなか」ランチマップ

令和３年度
第3回テイクアウトパーク
テラス席の設置（銀座通り）
キッチンカー、サイクル＆イート
コーヒー飲み比べ、オリンピックTV観戦

こまゼミ
第2回「スキンケア」
第3回「ストレッチ講座」
第4回「クリスマススワッグ」
第5回「おいしいコーヒーの淹れ方」

駒ヶ根スプリングフェスティバル

テイクアウトパーク

こまゼミ

●こまがねテラス
※ワークショップ、勉強会から生まれた官民協働の中心市街地再生の「御旗」
- アルプスのふもとの「テラス」
- まちでの活動を「照らす」

●中心市街地は経済活動の集積地
一過性のイベントや一つの集客機能でなく、商店、個人、その他事業者による自立した活動の集合体による持続可能なまちに

●アクションブック

＊こまがねテラス・プロジェクトの「コンセプト」と「実現に向けた方策」をまとめた冊子
＊まちで何らかの取り組み（事業）を行う人に向けたもの。実践者へのサポート内容も記載
＊具体的取り組み（アクションプラン）は、更新していく

【フェーズ１】
中心市街地と山をつなぐ

【フェーズ２】
山とのつながりを太くする

【フェーズ３】
駒ヶ根市全体とつなげる

【フェーズ４】
広域のハブとしての中心市街地

【関連事業】

●生涯活躍のまちの推進【DOCA】
・多世代交流（ごちゃまぜ）の場づくり

●公共空間整備の検討【都整】
・無電柱化、街並み整備

●その他
・建物の修景等ハード整備

●中心市街地未来ビジョンデザイン化
・未来図の作成
・社会実験、施設整備

市街地再生基本計画(第2期)策定